

生活保護基準引き下げ違憲訴訟

横浜地裁で原告勝訴判決

原告
勝訴



富山はじめ全国29の都道府県で取り組まれている、国の生活保護基準引き下げの取り消しを求める訴訟について、10月19日、横浜地裁は横浜訴訟における原告勝訴の判決を言い渡しました。

「裁量権の範囲を逸脱・濫用、保護費引き下げは違法」

これで大阪、熊本、東京地裁に続き全国4例目の原告勝訴判決となりました。

裁判長「統計などとの合理性欠き違法」

横浜地裁の岡田裁判長は判決において「統計など客観的な数値などとの合理的関連性を欠いており、違法である」として、生活保護費を引き下げた自治体の決定を取り消しました。



富山訴訟もなんとしても勝訴へ

富山市の原告5人が国と市に減額処分取り消しを求めている富山訴訟は、来月2日に25回目の口頭弁論が行われます。

富山においても国の誤りを認めさせ、原告勝訴を勝ち取るため、傍聴参加や裁判活動への支援など、いっそう大きなお力添えをお願いいたします。

11月2日(水)
於：富山地裁

富山訴訟 第25回 口頭弁論

皆さんの傍聴参加をお待ちしています!

口頭弁論

13:30~14:30 富山地裁 3F 第一号法廷

報告集会

14:45 (予定) ~ 県弁護士会館 3F 会議室

感染防止対策の観点から傍聴人数が制限されています。
傍聴希望の場合はできましたら事前連絡をお願いします。
(TEL: 076-442-8000 メール: tym_sugita@doc-net.or.jp)
参加にあたってはマスク着用、事前の検温などのご対応をお願いします。



反-貧困ネットワークとやま ニュース No. 39
2022/10/20 発行：ネット事務局 mail:tym_sugita@doc-net.or.jp

